

新年のご挨拶



二松学舎大学
父母会報

平成5年5月10日創刊
令和5年1月20日発行
(第119号)

二松学舎大学父母会
(本部・事務局)
東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞広常吉先生書



父母会長
染井 直人



あけましておめでとうござい
ます。会員の皆様におかれましては、
ご家族の皆様と様々な思いを胸に新
春をお迎えのことと存じ上げます。
昨年は風水害等、多くの自然災害
が日本列島を襲いました。被害に遭
われた方々には心からお見舞い申し
上げますとともに、一日も早く立ち
直られることをお祈り申し上げます。
さて、父母会活動はコロナ禍のな
か、いくつかの変化を求められなが
らも粛々と進めることができました
。これもひとえに皆様のご理解と
ご協力のたまものと存じ上げ、深く
感謝申し上げます。
定期総会、父母会懇談会はリモー
ト開催併用で、会場にお越しの皆様
だけでなく、全国各地の皆様にご参
加いただくことができました。大学

や学生生活を理解することができ、
よかつたとのご意見をいただき、役
員一同喜んでおります。
創縁祭では一日だけですが、三年
ぶりに開催しました父母会休憩室に
多くの方にお越しいただき、準備し
ました茶菓がすべてなくなる盛況ぶ
りでした。父母会役員との歓談の中
で活動の様子をかいまみ、お楽しみ
いただけたのではないのでしょうか。
このように形を変えての行事の開
催は、新しい変化への糸口であつた
とも考えております。
ただ、昨年も留学生の皆さんとの
交流会は開催できませんでした。本
年も開催できなければ、交流会を経
験せずに卒業する留学生が出るこ
とが残念でなりません。
昨年、本学は創立百四十五年を迎
えました。このような時代であるか
らこそ、卒業生や在学生の皆さんに
は長期的視野のなか、建学の精神を
しっかりと受け継いだ活動を期待す
るものです。
本年も父母会は大学と会員皆様の
橋渡しとして、そして学生の皆さん
にどう寄り添ってゆくかを念頭に活
動してまいります。会員の皆様に
は、より一層のご協力をお願い申し
上げます。
本年こそ父母会会員の皆様、学生
の皆さん、二松学舎大学にとって最
良の歳となることを心から祈念申し
上げます。

父母会や関係者の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。二松学舎は今年創立一四六周年を迎えます。

さて、社会は新型コロナウイルスとの共存の方向で進んでいます。大学では、オンラインから対面授業に切り替わり、ゼミやサークル活動等従来の学校生活も戻ってきております。

本学の長期ビジョン「N'2030 Plan」は、五年が経過し、結論から申し上げますと、皆々様方のご努力・ご貢献のおかげで、順調に進み、我々は着実にステップアップしてきております。この五年間の実績を簡単に振り返りましょう。

まず、教育研究体制面での優秀な教授陣と高い教育研究レベルの維持という目標は、総じて達せられましたが、研究面での科研費採択件数が低く、改善が必要です。学生満足度等教育体制充実度は、両学部共に目標値を上回り、在学生における教育内容の評価が向上、今後その維持が望まれるところです。

そして、リテラシーとしての教養教育を展開するため、二〇二二年度から導入した「新カリキュラム」には、新しいキャリアデザイン・数理データサイエンス・AI等の各科目が含まれており、卒業時の成果が期待されます。また、二〇二二年度末からは、教育成果の証として学生

への「ディプロマサプリメント」の交付が試行導入され、今後の効果が見込まれています。

グローバル化の面では、国際交流センターの機能を拡充させ、多様な海外留学プログラム提供の他留学可能な協定校を中国、北米・欧州等十七校に、また学術交流を主とする協定校も二十三校に増やし、国際交流推進度は顕著に上昇しました。その他東アジア学術総合研究所を中心

年度に都市文化デザイン学科、翌年度に国際経営学科を開設、昨年四月には歴史文化学科、大学院に国際日本学研究所(修士)を開設、この間収容定員は、学部・大学院あわせて二九三四名と、二五一四名から四二〇名の増員となりました。

キャンパス整備面では二〇一七年に「九段5号館」を取得、国際交流センター、共同研究室等を整備しました。奨学金制度は、国による修学

一歩一歩 着実に

「N'2030 Plan」五年間の

進捗状況と今年の課題



学校法人二松学舎 理事長 水戸英則

に、シンポジウム等活発な活動も見られました。

ICT化ではネットワークの大規模模高速化&大容量化工事を実施、また二〇二二年度以降入学生にモバイルノートPCの無償貸与を開始しました。さらにキャリア教育面では、二〇一七年度以降就職率は平均九十八%で推移。今後新規就職先の開拓が重点課題です。

学部・学科等構成面では、二〇一七

に関する規程」による階層・職務別の研修体制が定着、教職員の資質向上促進のための全学的な体系が整備されています。ガバナンスの充実面では、二〇二二年に「学校法人二松学舎二松学舎大学ガバナンス・コード」を公表。健全な法人運営のため、引き続きガバナンスの強化を図ってまいります。

今年を含めた今後の課題は、①二〇二二年度導入した教養教育のための新カリキュラムの実質化及び効果ある運用の実現、②教務基盤システム(Live Campus)の更新や(LMS)の新規導入による教学マネジメント面のDXの推進です。教育現場や研究環境にデジタル技術を積極的に取り入れ、教育の質を更に深化させ、学修者本位の教育、学習成果(Learning Outcomes)の引き上げ、出口を保証する教育成果のさらなる充実を目指します。

今後、創立一五〇周年に向けて、大学のブランドをますますレベルアップさせ、受験生からいつも選ばれ「二松学舎大学」としてのゆるぎない地位を目指し、皆さんとともに、確実に着実に歩んでいきたいと考えております。

引き続き皆様方のお力添えを切にお願いして、新年の挨拶といたします。

(注) Learning Management System

あけましておめでとうございませす。皆様におかれましてはさらなる飛躍を、私共教育機関としては着実な歩みを、この新年の願いといたします。

旧年中は、対面での講義を再開することができ、二松学舎大学もそのキャンパスらしさを少し取り戻すことができました。学生たちは、キャンパス内のいわば解放的な空間を利用しながら、時にはそこから歓声を響かせたりしています。一方で、小さなテーブルで熱心に本を読んでいる学生もいます。こうした学生たちのいるキャンパスらしい風景が復活したこと、これも、皆様方のご協力のたまものと、日々感謝の気持ちで過ごしております。

昨年度までの長く閉ざされた状況の中でも、高等教育機関として、学生たちに少しでも質の良い教育研究のサービスを提供しなければならぬという思いを、私たちは重ねてきました。学生たちを前に、教職員スタッフの誰でもがそのことを責務として受けとめ、また具体的には、授業提供のさまざまな工夫を重ねてきた次第です。

ようやく今年度からは対面授業が可能となり、この対面に戸惑う学生たちもいましたが、キャンパスでの本来の学生生活を味わうことができただけで、先輩後輩との結びつきも薄く

なりがちで、広い意味での学びの文化の衰退を心配していました。しかし、学生たちは、ゼミ合宿や学園祭などさまざまな機会を活用し、二松学舎大学の学生文化を、次の世代へとつなげていくことに努力してくれました。

学問領域によっては、教員たちもまたこの間、十分な研究調査活動が続けられずに、かなり苦労してきました。私もまた、博物館施設の制限



年頭所感

あけましておめでとうございませす

学長 江藤 茂博

された開館との調整がうまくできずに、仮の文章を書き上げた後に、そうした施設での確認調査に向かうことになるという、かなり変則的な事態を余儀なくされました。

日々のキャンパスでの学びと生活が必要な学生たちにとっては、なるべく通常の教育環境を保持しなければなりません。厳しい社会環境の変動のなかで、規模が大きくない本学では、学生そして父母等の皆様と私

たち教職員とが、こうした事態への対応を密に協力し合うことで、教育研究の環境を保持できました。都心の狭いキャンパスであること、情報系の教育研究組織を持っていない本学では、他大学に比べて多くの負担を、学生や父母等の皆様におかけすることになったかもしれない。申し訳なく思うと共に、私たちが皆がこの二松学舎という教育研究の場を大切に共有していること、そし

てより多くの人たちから支えられていることを、あらためて確認できたことも確かです。

まだまだ予断は許せませんが、皆様の大きな協力をいただき、二松学舎のゆるぎない結束力を目の当たりにしたことは大きな喜びでした。社会的な変動のなかでの学長職でしたが、その責務をある程度は果たせたのではないかと思います。そのほかとんが新型コロナウイルス感染拡大のなか

での対応に追われる日々でしたが、次年度からは、新しい執行部による、創立一五〇周年に向けての基盤整備が行われることと思います。新年にあたり、慶びの言葉と共に、二松学舎は、漢学者三島中洲が力を注いだ学問と教育を愛する精神に則り、今後とも皆様と共にさらに伝統的な教育研究機関として、着実な歩み続けることを強く確信しております。そして、本学と共に歩む皆様のご多幸を祈念します。



2022 創縁祭報告

創縁祭2022を終えて

学園祭実行委員会 委員長

文学部国文学科 三年 水口愛子

十一月二日(水)・三日(木・祝)の二日間にわたり、創縁祭二〇二二を開催いたしました。三年ぶりの全面対面開催となり、学園祭実行委員会一同大変嬉しく思います。久々の対面開催となり、参加して下さった各団体の皆様や、ご来場していただいた皆様にも楽しんでもらえるような創縁祭になったのではないかと思います。

ご来場いただいた皆様より、二松学舎らしい発表が多く楽しめた、学生の若いエネルギーをたくさんもらった等の嬉しいお言葉をいただきました。これも、参加していただいた各団体の皆様や、お力添えをいただいたいた本学父母会の皆様、松苓会、学生支援課の皆様、教職員の皆様、創縁祭に関わってくださった皆様のおかげだと思います。この場を借りて御礼申し上げます。

私はありがたいことに二年連続で学園祭実行委員会の委員長を務めさせていただきました。今後は後輩が受け継ぎ、後輩らしい創縁祭を運営していくことでしょう。

新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、縁と縁をつなげ合い、素晴らしい創縁祭になるよう、実行委員役員一同努めて参ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。





あけましておめでとうござい
ます。本年もどうぞよろしくお願
いいたします。みなさんは、どの
ようなお正月を過ごされたでし
ょうか。

「一年の計は元旦にあり」とは
よく言いますが、私はここ数年、
元旦に今年の日標を書初めする
のが習わしになっています。この
時とばかりに、古い

書道セットを押し入
れの奥から引つ張り
出し、墨をすって、
毛筆で半紙に書き
ます。昨年の日標は

「整理」でした。身の
回りの整理整頓はも
ちろん、心や身体
のメンテナンスもでき
たらと思いい、選びま
した。結果は…まあ
まあといったところ
でしょうか。結果は
毎年、だいたい『ま

あまあ』におさまるのですが、実
はこの『まあまあ』ところが大
事なのではないかと思っています。
相談室でお話を聞いてみると、
真面目で一生懸命な学生さんた
ちから、『ねばならない』『し
ゃなきゃいけない』という表
現をよく耳にします。もちろん、
こうした責任感や義務感

学生相談室 だより 119 カウンセラー 林 利恵

を高め、理想や目標に近づくエネ
ルギーの源になります。ですが反
面、知らず知らずのうちに自分を
追い込んだり、他者に厳しくなっ
たりする面も持っています。

自分を追い込み、理想や目標に
近づけないと、徐々に心身が疲弊
して、眠りや食事が上手くとれな
くなる…こともあります。です
から、『まあまあ』と

か、『まあいいか』と
思えるところで、妥
協することも大事な
のではないかと思
うのです。

学生さんの状態に
もよりますが、私は
よく「目標の六割で
きたらよしとしよ
う。」と伝えていま
す。完璧を目指して
辛くなるのであれ
ば、半分かそれより
少しかそれくらいで

『よくできたね』『半分できたら
大したものだ』と自分を認めて
あげます。すると、そのうち『ま
あいいか』と自分を許せるよう
になっていきます。とは言え、捉え
方や考え方を変えるのは容易な
ことではありません。そんな時
こそ、相談室でお力になればと思
っています。

●三年次の就活が本格化

皆様、新年明けましておめでとう
ございます。皆様方にとつて、ご多
幸ある一年となりますことをご祈念
申し上げます。

さて、話は変わりますが、今年
の三年次生は二〇二四年の三月に
卒業予定のため、「二四卒（二一ヨ
ンソツ）」と言われていています。この
「二四卒」までが、所

謂政府の「就活ルー
ル」に則ったスケジ
ュールで、就職活動
を行うこととなりま
す。また、同じよう
に企業側は採用活動
を行うことを原則と
しています。しかし
ながら、ご承知のと
おり、「就活ルール」
に罰則はありません。

昨今では中小企業の
みならず、大手企業
も人材確保のため、早め早めに会社
説明会などを実施し、予備選考的な
活動が確認されています。そのため
学生の皆さんは、早期に準備する必
要が出てきております。特に企業側
の「広報解禁」となる三月までに、
自己分析や業界・企業研究を行い、
SPIの問題を繰り返し、エントリー
シート草稿を準備しておくこと
が必須となってきました。

ア リタ リ キ セ だ 69

こうした状況を踏まえて、キャリ
アセンターでは、昨年九月の就活ス
ケジュールガイドダンスを皮切りに、
多くの三年次生向け講座・研究会を
開催してまいりましたが、年明けの
これからも引き続き、次の各講座を
開催します。

- ・ 出陣式
- ・ 就活目前！ 直前講座
- ・ 就職面接VR講座

- ・ 学内合同企業説明会
「創縁会」
- ・ 求人票はここを見る
労働法から読み解く
求人票講座
- ・ 面接直前準備講座
- ・ 面接基礎理解講座
- ・ 面接マナー講座
- ・ グループ面接対策講
座

各講座の開催日時は、
すでに学生ポータルサ
イト「Live Cam
pus」と就活ポータ
ルサイト「二松ナビ」で配信済みで
す。特に「出陣式」ではこれからの
心構えも含めてお話しさせていた
きます。「創縁会」には、二松学舎
大学の学生がどうしても欲しい、と
いう企業が「一四〇社以上オンライ
ン上で来校します。今まで興味なか
った業界であっても、思いがけない
「出会い」があります。是非、ご父
母の皆様からも一言お声がけ願
います。

学生支援課から

●2022年度学位記授与式のご案内

2022年度学位記授与式については、下記のとおり挙行いたします。

日時：2023年3月15日(水) 10:40卒業生集合 11:00開式～12:00頃終了予定

※式典終了後、会場内にて学位記授与を実施し、全体で13:00頃までに終了・順次解散の予定です。

会場：中野サンプラザホール

東京都中野区中野4-1-1

(JR中野駅・東京メトロ中野駅から徒歩1分)

※挙行にあたっては座席間隔の確保等の感染症対策を行います。このことにより会場内の座席を卒業生のみで全て使用することになるため、父母等の皆様はご参加いただけません。ご了承くださいませようようお願い申し上げます。なお、式典の様子はオンライン配信する予定です。

※今後、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限などやむを得ない事態が生じた場合は、実施方法を変更する場合がございます。その場合、ライブキャンパス保護者ポータル等で周知いたします。

●2023年度学費の納付方法の変更(口座振替)について

二松学舎大学では、在学生の学費納入について、2023年度から学期ごとの振込方式から、口座振替方式(引き落とし)へ変更いたします。これにより学費を納入される方が、金融機関窓口を訪れる手間が無くなります。

ご登録の方法等、詳しい内容につきましては、二松学舎大学ホームページ、学生生活・学費掲載欄等にて、2023年1月以降ご案内を掲載いたしますが、2月頃より順次、郵送でもご案内をいたします。お手元に届きましたら、内容をご確認頂き、口座登録の申請をお願いいたします。



大学の講義を受講してみませんか

二松学舎大学には、科目等履修生制度があり、大学の授業を広く一般の皆様にも公開しています。科目等履修生制度とは、大学で開講している授業科目(1～数科目)を学生と一緒に受講し単位も取得できる制度です。

本学学生のご父母の皆様には、生涯教育の一環として一人でも多くの大学の授業を受けて頂きたいとの趣旨から、登録料の免除、科目等履修料の減額措置を講じております。この機会に、是非お子さんと一緒に大学の授業を受けられることをお勧め致します。

内容は、次のとおりです。

■公開科目

学部・大学院で開講している授業科目のうち、原則として演習科目を除く授業科目を公開いたします。

■募集要項

二〇二三年度の募集についてのお問い合わせは、二月になりますからお願いいたします。

■科目等履修料

一科目 通年科目 三万円
半期科目 一万五千元

■問合せ先

二松学舎大学教務課
〇三(三二六)七四〇六

今年度の卒業パーティーについて

二松学舎大学父母会では、例年、卒業生の皆様のご卒業を祝し、また、在学中お世話になった教職員の皆様への感謝の気持ちを込めて、卒業パーティーを開催しております。しかしながら、二〇二〇年度以降新型コロナウイルスの感染拡大を受け開催を中止しております。今年度につきましては、役員会で実施に向けて様々な検討を行って来ましたが、大人数での飲食を伴

うパーティーをまだ行える状況にないと判断しました。したがって、誠に不本意ではあります。今年度も卒業パーティーの開催を見合わせることにとなりました。卒業生、卒業生のご父母の皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。代替措置として父母会より記念品を贈呈する予定です。

二松学舎オリジナルネクタイのご紹介

二松学舎サービス(株)では、二松学舎オリジナルネクタイを販売しております。本学のイメージカラーを使用したストライプデザインのネクタイは、ご利用シーンを選ばずお使いいただけます。カラーはグリーン・紺の2色、素材はシルク100%で、裏側のループには二松学舎のロゴが記されております。これから就職活動を迎えるご子息へのプレゼントにもおすすめの商品です。

- 販売価格：3,800円(税込)
- 販売方法：二松学舎サービス株式会社(九段3号館10F)
オンラインショップ [https://nishogakusha.shop-pro.jp/]
※オンラインショップをご利用の場合、別途送料をいただきます
- お問合せ先：二松学舎サービス株式会社
TEL：03-3261-6921 MAIL：info@nishogakusha-s.co.jp



卒業アルバム個人写真の提出のお願い

卒業アルバムは父母会より全卒業生に贈呈します。卒業アルバム用の個人写真を昨年11月から12月に大学で撮影していましたが、来校できず撮影が出来なかった方は、2月上旬の卒論(卒研)面接試問の時期にも撮影を予定しておりますので、来校して撮影してください。

来校での撮影が難しい場合、データもしくは郵送での提出も受け付けます。下記の要領に従って、ご提出ください。再度、ご家庭でも学生本人にご確認ください。

□個人写真をデータ提出をする場合の注意点

- スマホやデジカメなど撮影に使用する機種種の「最大データ(撮影)サイズ」で撮影/保存してください(データ形式は必ずjpgにて)。
※iPhoneで撮影する場合は、設定アプリで「カメラ」→「フォーマット」→「互換性優先」を選択してください。
- スナップ写真や集合写真などからの抜粋加工は承ることができませんのでご注意ください。
- 背景は無地の明るい部屋で。「証明写真」のような仕上がりをイメージに、必ず頭上に隙間をあげ、上半身は両肩、胸部辺りまで入れてください。
- お送り頂く画像データサイズはメール添付の共用範囲内で大きめで(目安データサイズ1~3メガバイト程度)。
※ただしこれより大きすぎるとメール送受信できませんのでご注意ください。
- 写真データは全体のバランスの中で補正していきますので、提出時は無加工のデータにてお願いします。
- メールの件名は、「卒業個人写真」を頭に付けて、学生番号・氏名を必ず記載してください。
例：「卒業個人写真219A0000二松花子」
データ提出先：sotsuaru@nishogakusha-u.ac.jp

□証明写真を郵送で提出する場合

- 写真サイズ タテ5センチ×ヨコ4センチ
(右記の例を参考にしてください)
※写真の裏面に必ず学生番号・氏名を記入してください。
郵送先：102-0074 東京都千代田区九段南2-4-14
二松学舎大学 四号館1階事務室 卒業アルバム係
提出締切日：2023年2月28日(火) 必着(データ・郵送共通)

- ご提出いただけない場合は、学生氏名のみの掲載となりますことをご了承ください。
- 卒業アルバムは、保証人(実家)宛に送付します。
- 卒業後、保証人住所を変更する予定がある場合には必ず学生支援課へ報告してください。



顔の上に空き+左右は両肩が入りできればベスト。さらに下は胸まで写ったもの

新年あけましておめでとうござい
ます。
未だに収束しない新型コロナウイルス
又感染症。二〇二三年も予断を許さな
い状況が続くことが予想されます。
そんな中で十一月二日〜三日に、
三年ぶりに対面で開催された「創縁
祭」は、一四五周年記念にふさわ
しい活気に満ちた学園祭でありまし
た。学生の皆さんの趣向を凝らした
企画による催し等々から、父母の皆
様をはじめ多数の来校者をお迎えす
ることができたと伺っております。
父母会主催の無料喫茶室にも
一六〇名を超える方々が来室してい
ただきました。感染対策を考えなが
らではありますが、無料喫茶室がで
きたことは大学関係者の皆様の御尽
力に心から感謝申し上げます。
また、三年ぶりの無料喫茶室の開
催ということで至らない点も多々あ
ったことと思いますがアンケートの
お話から、たくさんのご意見やご感
想、ご支援のお言葉をいただきました
。この場をお借りしてお礼申し上
げます。
父母会の活動内容として、二松学
舎大学父母会成長支援型奨学金支給
や卒業記念品などの企画が予定され
ております。学生に寄り添い、父母
の意見を反映できる、そんな父母会
でありたいと思います。
二〇二三年が、皆様にとって笑顔
あふれる一年になりますこと心より
願っております。本年も、父母会活
動へのご理解、ご支援をよろしくお
願いたします。